

事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部アフリカ第四課

1. 案件名 (国名)

国名：ギニア共和国

案件名：国道三号線スンバ橋架け替え計画

(Projet de Reconstruction du pont Soumba sur la Route Nationale N°3)

G/A 締結日：7月3日

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における道路セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ギニアの道路総延長は約 43,000km であり、うち国道は 7,625km である。独立後、十分な整備が行われなかったため、都市間道路の整備の遅れ、都市への人口集中を背景にした都市部・郊外における交通渋滞などの問題を抱えている。そのため、ギニアは経済・社会開発国家計画 (Plan National de Développement Economique et Social 2016-2020。以下「PNDES」) において、国土開発のためインフラ整備を優先課題としている。国道三号線は、国連アフリカ経済委員会が推進しているアフリカ全土を網羅し経済開発を促進することを目的としたトランスアフリカンハイウェイのダカール-ラゴス間を構成し、北部の近隣諸国につながる幹線道路であり、西アフリカ諸国経済共同体 (Economic Community of West African States。以下「ECOWAS」) 域内の国際回廊の一部となっている。

国道三号線スンバ橋架け替え計画 (以下「本事業」という。) の対象となるスンバ橋は建設後 50 年以上経過しており、劣化・損傷が著しくかつ耐荷力不足により落橋の危険性があるため低速走行を余儀なくされている。また、日交通量が 4,000 台の状況の中、幅員が狭く、一車線通行であるため、通過待ち車両による渋滞が発生し物流のボトルネックとなっている。さらに、歩道がないため歩行者の交通事故の危険性が増大している。

本事業は、国道三号線上に位置するスンバ橋を架け替えることで、安全で円滑な交通・物流の改善を図るものであり、ギニア政府の PNDES で優先課題とされている国土開発のためのインフラ整備を具現化するものとして位置付けられている。

(3) 道路セクターに対する我が国及び JICA の協力方針等と本事業の位置付け

対ギニア共和国国別開発協力方針 (2017 年 10 月) における重点分野として「経済インフラの整備」が定められ、特に、ECOWAS 地域の連結性向上等も視野に入れつつ、基盤インフラ整備を支援するとしており、本事業はこれら方針に合致する。また、SDGs ゴール 9「強靱なインフラの構築、包摂的で持続可能な工業化の促進とイノベーションの育成」に貢献すると考えられる。なお、2013 年度、我が国は無償資金協力「国道一号線橋梁改修計画」を実施し、国道一号線のカアカ橋の架け替えを行い、ギニアの物流改善に貢献した。

(4) 他の援助機関の対応

現時点で、欧州連合 (EU) 及びアフリカ開発銀行が国道三号線上のタネネ橋の F/S 調査を予定している他、EU が国道四号線上のダンダヤ橋及びフェンイエ橋の改修を予定しているが、本事業との重複はない。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

キンディア州ドゥブレカ県コリア郡において国道三号線上に位置するスンバ橋の架け替

えを行うことにより、交通・物流の改善を図り、もって国道三号線沿線における物流の促進及び経済活動の活性化に寄与するもの。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名：キンディア州ドゥブレカ県コリア郡

(3) 事業内容

1) 土木工事、調達機器等の内容

【施設】国道三号線上に位置するスンバ橋の架け替え（橋長 77m、PC 橋、2 車線化）、
取付道路（763m）、護岸（210m）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、施工監理

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 1,522 百万円

（概算協力額（日本側）：1,471 百万円、ギニア共和国側：51 百万円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2018 年 11 月～2023 年 3 月を予定（計 53 ヶ月）。施設供用開始時（2022 年 3 月）をもって事業完成とする。

(6) 事業実施体制

1) 事業実施機関：公共事業省インフラ局

（Direction Nationale des Infrastructures, Ministère des Travaux Publics）

2) 運営・維持管理機関：公共事業省国家道路維持管理局

（Direction Nationale de l'Entretien Routier, Ministère des Travaux Publics）

(7) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担：特になし

(8) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：B

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる道路セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大ではないと判断され、かつ同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

③ 環境許認可：本事業に係る EIA（Environment Impact Assessment）報告書は 2018 年 8 月に環境・水・森林省環境調査評価局（Bureau Guineen d'Etudes et d'Evaluation Environnementale。以下「BGEEE」という。）により承認済み。

④ 汚染対策：工事中は大気質・騒音等について散水や遮音シート等を採用し、水質については河川への流出を防ぐため大型土壌による仮締切を採用する等で当国内の排出基準を満たす。

⑤ 自然環境面：本事業の対象地域は国立公園等の影響を受けやすい地域またはその周辺に該当せず、自然環境への望ましくない影響は最小限と想定される。

⑥ 社会環境面：本事業での被影響住民は 8 世帯 43 名であり約 23,294 m²の用地取得と、5 世帯 25 名の住民移転、3 世帯 18 名の一時移転を伴い、当国国内法及び JICA ガイドラインに沿って計画された簡易住民移転計画に基づき実施される。ステークホルダー協議は実施済みであり、本事業への反対意見はなかったことが確認されている。

- ⑦ その他・モニタリング：本事業は、工事中は公共事業省及び BGEEE の監理のもと、施工業者が大気質・騒音・水質等についてモニタリングし、用地取得については公共事業省がモニタリングを実施することとする。

2) 横断的事項：特になし

3) ジェンダー分類：【対象外】(GI) ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

＜活動内容/分類理由＞協力準備調査にてジェンダー主流化ニーズが調査されたものの、ジェンダー平等や女性のエンパワメントに資する具体的な取り組みを実施するに至らなかったため。

(9) その他特記事項：特になし

4. 事業効果

(1) 定量的効果：アウトカム（運用・効果指標）

指標名	基準値 (2017 年実績値)	目標値 (2025 年) 【事業完成 3 年後】
全車両の年平均日交通量 (台/日)	4,039	5,550
貨物車の年平均日交通量 (台/日)	853	1,150
橋梁通過時間 (秒)	27	5
旅客数 (万人/年)	549	756
貨物量 (万 t/年)	68	92

(2) 定性的効果

- ・ 橋梁架け替え及び歩道設置による物流・人的交流の安定性及び安全性の向上
- ・ 二車線化による国道三号線沿線の生活環境及び交通利便性の向上

5. 前提条件・外部条件

(1) 前提条件：用地取得と住民移転については、3. (7) 1) ⑥に記載のとおり。

(2) 外部条件：特になし。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

(1) 類似案件の評価結果

ネパール連邦民主共和国向け無償資金協力「カトマンズ-バクタプール間道路改修計画」(2007 年)の事後評価結果等では、事業完了後に道路状況が改善されたことから、車両が速い速度で通過し、近隣住民との交通事故が増加したため、住宅の多い箇所には計画段階から慎重に交通安全対策を検討し、十分な対策をとることが望ましいとの教訓を得ている。

また、ギニア共和国における橋梁建設事業において、橋梁開通後に急激に交通量が増加し舗装を損傷したため、舗装方法について慎重な検討が望ましいとの教訓を得ている。

(2) 本事業への教訓

本計画においても、近隣に集落があり、橋梁を渡って通学する子供もいることから、橋梁及び取付道路に歩道及び横断歩道を設置する。また、舗装については、交通量を鑑み、耐修道化対策としてポリマー改質アスファルトを用いることを検討している。

7. 評価結果

本事業は、当国の開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の協力方針に合致し、国道三号線上に位置するスンバ橋を架け替えることで、安全で円滑な交通・物流の改善を

図り国道三号線沿線における物流の促進及び経済活動の活性化に資するものであり、SDGs ゴール 9「強靱なインフラの構築、包摂的で持続可能な工業化の促進とイノベーションの育成」に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する必要性は高い。

8. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる指標
4.(1)~(2)のとおり。
- (2) 今後の評価スケジュール
・事後評価 事業完成 3 年後

以 上